

# ジャパングラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

## 1月度理事会報告

## 2016年1月より新年度が始まります 1月31日は新年会です、ぜひご参加ください

1月9日(土)行われた1月度理事会には9名の理事が参加され、下記の点について討議がなされました。

1) 1月31日に施行される2016年度総会進行に対する詳細とその後続いて開催される新年会の食材調達、余興等を討議。  
今年の特別番組に予定されている シュミット理事による“川柳”指導会、その他特別考案ゲームに付いて検討された。

2) 沖山会計理事に依る2015年度年間ベース会計実績報告と2016年度年間ベース会計予算報告を本日の理事会に提出され1月31日に行われる総会にて承認を得る事となった。

2月理事会は2月6日(土曜日)午後4時より予定。場所はサンマテオ榴木マーケット2階 事務局(大隅敏男)

### 明けましておめでとうございます —今年も節目の年—

今年は色々な意味で節目の年となりそうです。広く世界に目を向けるとアメリカの大統領選挙があり、中東発信のテロは簡単には収まりそうもありません。そんな中で4年に一度のオリンピックもリオで開かれます。

私自身に取っても今年は節目の年です。私は1936年生まれですから今年で満80歳を迎えることになります。又、1976年にアメリカ勤務となり、その後数年は日本に戻りましたが、ほぼアメリカに住んでいたのだから数えるとアメリカ滞在40年目となります。更に言うならばアメリカ滞在40年の内ほぼ半分はジャパングラブと共に歩んで来ました。

単純に計算するとジャパングラブは私の人生の1/4の期間に関わっている訳ですが、私に取ってはそれは大変に意義のあることでした。ジャパングラブの設立目的である「自然災害時の相互扶助」という点では幸いにして発動無しでこれ迄来ていますが、何が良かったと言うと学校、職場とは無関係に本当に心を許せる友人が何人も出来たことです。

私は日本、アメリカで色々団体や会に属していますが、ジャパングラブはレベルの高い会だと思います。毎月の理事会に出て感じることは理事の皆様が会のために労を厭わないことです。私は若い時から人を観る場合、どれだけ自分以外の人のために何かをやるかを基準に考えて来ました。それが出来る人はレベルの高い人でジャパングラブにはそんな人が大勢いるということなのです。

ジャパングラブの設立目的は今後とも大切に守って行きますが、折角会員になっているのですからご自分の生き方をより良きものにする場として活用するのも一考に値すると思います。そのための近道は理事の仲間入りをすることです。理事になると負担が増えて大変だとお考えになるかも知れませんが、そうではありません。運転をされないとか毎月の日本出張で理事会の半分近くは欠席する人もいますが、そんな場合は他の理事がカバーしてくれます。要は人のために何かをしようという気持ちがあるかどうかでその気持ちがあれば問題なく全てが回って行きます。

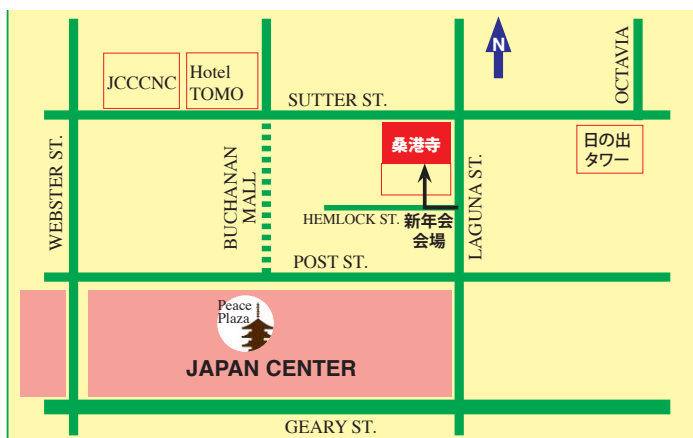
今年はジャパングラブの今後の発展のための節目の年となることを祈っています。

会長 上野正安

## 2016年度 定期総会・新年会のご案内

日時: 2016年1月31日(日) 午前11時~午後3時頃  
場所: 日本町桑港寺ホール (1691 Laguna St. San Francisco)  
会場入り口は建物左側の駐車場部分にあります(案内の掲示が出ています)  
新年会費: 会員25ドル、非会員30ドル(食事、飲み物等を含む)  
(注)定期総会へのご出席は無料です  
エンターテイメント: 会員が主体となる楽しい企画を考えております

申し込み用紙(定期総会及び新年会)が先月号のニュースレターに同封されています、締め切りは1月19日(火曜日)です、間に合わないと思われたら取りあえずお電話で。。  
事務局 (415) 221-9566 大隅まで



会場案内: 桑港寺ホール (1691 Laguna St. San Francisco)  
もし当日迷った方は (415) 517-1167 迄お電話ください、ご案内します

## 2016年1月新年度が始まりました 会費の払い込みをお忘れなく

さらに会計事務の煩雑さを避けるため、「ジャパクラブ会費」(継続会員は年会費35ドル)と「新年会」の参加費(会員は25ドル)の小切手を同時に送られる時はご面倒でも必ず別々の小切手とさせていただきます。



新年会の締め切りは1月19日(火曜日)です、お急ぎください

## 川柳は出来ましたか？

今年の新年会で初めてのお披露目となります、ぜひ応募してください、ご自分が創ると自然に川柳そのものに興味がわいてくる事でしょう。

お問い合わせは： シュミットまり子さん

電話： 925-228-7170

電子メール： sakura\_7170@yahoo.co.jp



この欄は会員の皆様に開放されたスペースです、貴方のごだわり、旅の想いで、専門的知識など皆さんに伝えたい事をスタイルにこだわらずお寄せください。文字数はおよそ1,000字程度とし、毎月の締め切りは15日です。

### 「感會」

古田 ころち

一年前のこの同じ1月号だった、「有由有縁」(ゆうゆうえん)と言う言葉について238号に書いた、川端康成が晩年よく揮毫された言葉だそうで、その直筆の色紙を見る機会があった。

この春訪ねた大分県(九州)の豊後竹田と云う所にある長湯温泉、大丸旅館の外湯で「ラムネ温泉」に併設される美術館にその色紙は飾られていた。(写真1)



写真1



写真2

そこでも一枚川端康成の色紙を見た「感會」とあった、中国の古い言葉で「今日感会 今日臨終」と云うのがあるそうで、ここから来ているようだ、色紙の横の説明カードに「良い時、良い所で、良い人に会う」と書いてあった、1971年のこと。。「今日貴方と会ってとても良かった、そしてその気持ちを大切にしよう、でももしかすると今日会う事がこの世で会う最後になるかもしれない」。。(写真2)そして川端康成はその翌年自らの命を絶っている。

新しい年を迎え、昨年的一年間を振り返って見ると嬉しい事には悲しい出来事が、楽しい時に反して辛い事がそれぞれ起り悲喜こもごもであった事を思う、こんな中多くの人々と新たに出会った、この出会いを「一期一会」の気持ちを持って大切にしたいと思うと同時にこの歳になると「今日感会 今日臨終」と云う言葉もけって人ごとではなくなって来た事をおもう。

ところでこの「ラムネ温泉」たいそう変わった名前です。でもあの飲み物を直ぐ思い浮かべてしまう、飲む効用もうたわわているがこの温泉もラムネ同様多量の炭酸を含んでいる(1リットル中に1,000mg以上の炭酸ガスを含んでいるものを炭酸泉と云い、1,000mg未満を炭酸水素塩泉と云うそうだ)ので湯に入っていると体中に粟粒の様に気泡がつく、これが太陽の光に当たりまるで体に銀の鎧を纏った様な感じになる。

ここのラムネ温泉にはこの両方の源泉がある、ただこの「炭酸泉」は泉温32℃、体温より低いので冷たく感じる、しかも露天である、私の行った4月の初旬、快晴にも関わらず気温は15℃、入るのに少しばかりの勇気が入る、入ってしばらくすると体の周りの温泉水が体温で暖められるのか、体が慣れてくるのか何とか入っていられる、しかし少しでも動くものならその冷たさに震え上がる事になる。太陽光にきらきらと光る銀色の粒を見ていると爽快な気分になる、心臓病初め多くの効用が書き出してあり何となく効きそうな気になってくる。もう一方の「炭酸水素塩泉」は同じ場所の屋内にありこちらは42℃と普通の温泉であった。

其れからこのラムネ温泉の建物がこれまたちょっと変わっている、藤森照信氏(東京大学名誉教授、建築家)によるもので焼き杉と白色の漆喰というあまり見かけないもので「焼き杉」は表面を炭化させる事で腐食を防ぐのだそうだ。(写真3)(写真4-右の建物の2階が美術館になっている)



写真3



写真4

この豊後竹田を訪ねるには、ラムネ温泉の他にこの時のもう一つの目的があった。滝廉太郎の作曲した「荒城の月」そして廉太郎が歌のイメージを膨らませた「岡城」跡が見たかったからだ、また機会があったらこの岡城跡と滝廉太郎記念館についてお知らせしましょう。